



# 曾谷の風

市川市立曾谷小学校  
校長 田部井 伸郎

学校教育目標『ゆめ あすから』チャレンジする子どもたち

→爽風学園ブログはこちら

→学校ホームページはこちら

曾谷っ子の合言葉

「元気・本気・勇気」～3つのキを育てよう～



## オープンスクールデー（授業参観）

先月 27日（金）はオープンスクールデーでした。ご多用の折、

また足元の悪い中、たくさんの保護者、地域の皆様にお集まりいただきありがとうございました。夏休みに心も体も成長し、さらに 1 か月過ごした学校での姿を見ていただきました。いかがだったでしょうか。お気づきの点は、よろしければお声をお聞かせ願えれば幸いです。次回お子さんの様子をご覧いただくのは、「曾谷っ子音楽発表会（11/9）」です。

本日から10月となり、年度の後半が始まります。今後とも学校教育にご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 5年生 校外学習

先月24日(火)に5年生は校外学習に行きました。

5年生の社会科の学習は国内、産業が主になります。

行き先はまず製鉄所、場所は君津の日本製鉄でした。ここ数か月、アメリカのUSスチール買収にかかわるニュースで頻繁に見聞きする会社名ですね。ちなみに日本製鉄は国内業界トップ、2位はJFEであり、ともに千葉県です。

さて「鉄」は現在の我々の生活を支える根幹といえます。鉄がなければ、世界の多くの国々が困ってしまいます。日本では、鉄の原料となる鉄鉱石は全く産出されませんが、原料を輸入し（世界2位。以下 2022 年の数字）、それを鉄鋼として生産し（世界三位）、輸出する（世界4位）のが、製造における日本の主な産業や貿易の形です（「加工貿易」と小学校では習いました）。「鉄」において、日本は世界トップレベルの技術と生産、輸出を誇っていますので、製鉄所の見学はとても大事でしょう。

次の目的地は、富津海岸。ここで地引網体験を行いました。漁業も海洋国・日本を支える非常に重要な産業です。体験するのは、地引網。実際、綱・網を引くのはものすごく重いですし、ある程度引っ張ったら、また波打ち際まで移動して引っ張る、を繰り返します。



これを仲間と一緒に力を合わせたという経験、昔から行われている漁業を体験できたこと、生きた魚を捕ることができた経験は貴重です。たくさんのコハダ（いいお寿司になる）や小魚とともに、大ぶりの鯛も5尾掛かりました。富津の豊かな海を感じました。

捕れたての魚を各家庭へお土産に、というのは数的にも衛生的にも難しいので、本当に残念ながら「捕った魚はお礼に網元さんにご寄付する」形としました。

ともに校外学習ならではの学習ができました。

#### 4年生 落語教室

先月 25 日（水）に落語教室を開催しました。定式幕、めくり台に寄せ文字、座布団・敷物を使った高座など、雰囲気作りにも 4 年生の思い入れを見ました。

落語は 4 年生の国語の教科書に出てきます。落語教室で講師をしていただいたのは、川柳つくし師匠です。

つくし師匠は、テレビ番組でいえば、日テレ系の「エンタの神様」や「笑点」の大喜利などにも出演されていました。

また、何と我らが曾谷小学校のご出身です。これまでも毎年、4 年生のために来校いただいていますし、そのほか地域イベントにも参加されているので、ご存じの方も多いことでしょう（保護者の皆様の中には、お子さんの時に落語教室でご覧になった方もいらっしゃるでしょうか）。



会は、つくし師匠のご紹介の後、まずは代表の子どもたちの落語の発表がありました。1 組の代表児童は 1 人で「んまわし」を、2 組の代表児童は 2 人で「まんじゅうこわい」に取り組みました。どちらも本当に上手で驚きました。さすがクラスの代表に選ばれるわけです。師匠からの好評でも、もちろん上手であるとお墨付きを得ました。

その後は、つくし師匠の出番です。師匠はウクレレを使ったお噺に特徴があり、まずは「ウクレレ小噺」からでした。そのあと落語「平林（たいらばやし）」にオリジナルを加えたお噺が聞けました。

4 年生は先週 27 日（金）のオープンスクールデーに、自分たちの落語の発表会を控えているので、師匠の発表は、少しでもよいものを自分の発表にも取り入れようと、より主体的に聞くことができたことでしょう。いい学習になりました。

#### 手縫いボランティア継続中



以前お知らせした、5 年生家庭科の手縫いボランティアが継続中です。3 回目となる先月 26 日（木）の様子です。随分子どもたちも地域の方々への手の借り方、コミュニケーションの技術を心得たように見えます。これも立派な体験学習です。子どもたちはほぼマンツーマンで教えていただいているので、技術も上がります。担任一人では到底こままでのレベルではできませんので大助かりです。地域住民によるボランティアには毎回新しいメンバーを加えていただいていますので、さらに「曾谷小応援隊」の裾野が広がっています。今週からは、ミシンの学習が始まります。